

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	頭頸部癌再建手術における炎症性マーカーと術後せん妄の関連についての検討		
2. 対象患者	以下の期間に弘前大学医学部附属病院で頭頸部再建手術を受けた患者様		
3. 対象となる期間	2015年1月1日 ~ 2019年 12月 31日		
4. 実施診療科等	麻酔科		
5. 研究責任者	氏名	木下 裕貴	所属 弘前大学医学部附属病院 麻酔科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	共同研究機関はありません。		
7. 研究の意義	術後せん妄は術後の認知機能のみならず、在院日数や死亡率に影響する重要な合併症です。現在、術後せん妄を予測する方法の中で確定的なものはありません。頭頸部再建術の術後せん妄は再建された皮弁の血流という点からも早期に予防・介入すべき問題です。術後せん妄を術前の血液検査から得られる炎症性マーカー等から予測することにより、術後せん妄の予防法の確立やよりよい術後の治療に役立つと考えます。		
8. 研究の目的	患者様の既往歴・術前検査等を統計解析することで、術前の好中球・リンパ球比や血小板・リンパ球比を含む炎症性マーカーが術後せん妄の発症と関係するかどうかを後ろ向きに比較・検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	年齢や身長・体重・既往歴などの患者様の背景に加え術前の血液検査、手術中の出血や輸血量、輸血量等を術後せん妄発症群と非発症群の2群に分類し、Unpaired T-test、Mann-Whitney's U検定及び χ^2 検定などの統計法を用いて比較検討を行います。		
10. 個人情報の保護	本研究で取得した情報は、個人が特定されないように配慮します。収集したデータは匿名化した上で麻酔科学講座で保管し、該当患者様およびその御家族から当検討へ批判や拒否の意向が示された場合には該当患者様のデータを削除します。ただし、学会や論文に発表・投稿後に拒否の意向を示された場合、公表後の結果を修正することはできませんので、御了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	研究責任者、すべての共同研究者に開示すべき利益相反は存在しません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座 木下 裕貴		
	電話	0172-39-5113	FAX 0172-39-5112